

**小児科に通院中（または 過去に通院・入院されたことのある）患者さん
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題】 当院における小児ロタウイルス胃腸炎についての後方視的検討

【研究機関名】 NTT 東日本札幌病院

【研究責任者名・所属】 近藤 謙次 （小児科 部長）

【研究の目的】

ロタウイルスは乳幼児の重症胃腸炎を引き起こす主要な病原体で、5歳までにほぼすべての小児が感染するといわれています。我が国では2011年以降、2種類のロタウイルスワクチンが任意接種として開始され、2020年10月からは定期接種となりました。ロタウイルスワクチン導入後、ロタウイルス胃腸炎の入院数の大幅な減少や、医療機関への受診抑制効果が報告されており、さらにCOVID-19流行後、ロタウイルス胃腸炎は他の感染症と同様に大きく減少しました。しかし2025年以降はその発生数が増加傾向となっており、今後の動向に注意が必要です。当院では、将来のロタウイルス胃腸炎の診療や予防がよりよいものとなるよう、当院で診療した小児ロタウイルス胃腸炎患者様の背景、重症度、ロタウイルスワクチン接種歴等を調査・研究し、ロタウイルス胃腸炎の発生動向、重症度の変化の有無、ロタウイルスワクチンの有効性等を検討しています。

【研究の対象】

○対象となる患者様

2010年1月1日から2025年12月31日までの期間にNTT東日本札幌病院でロタウイルス胃腸炎の診断で診療を受けた16歳未満の小児の患者様。

○利用するカルテ情報

ロタウイルス抗原迅速検査等の結果、性別、年齢などの患者特性、ワクチン接種歴、臨床症状、入院の有無、治療内容、血液検査(白血球、CRP値、生化学検査などの検査結果)、腹部レントゲン写真などの画像検査結果、入院期間、合併症の有無等。

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さん個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前住所などを特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌に発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

NTT 東日本札幌病院小児科

連絡先:〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 15 丁目

担当医師：近藤 謙次

Tel： 011-623-7240

Fax：011-623-7527